

平成6年度大学情報提供事業について

はじめに

大学入学志願者による大学の選択が偏差値情報に過度に依存したり、大学に関する一面的な情報に依存して行われている状況が見られ、これを改善するため、大学入学志願者や高等学校等に大学の教育・研究の内容等に関する正確で質の高い情報を提供するための体制の整備が要請されている。

このような要請を背景に、大学入試センターは、昭和63年度から新たに「大学入学志願者の進路選択に資するための大学に関する情報の提供」の業務を行っている。

1 ハートシステムによる大学進学案内について

昭和63年10月から NTT のキャプテン通信網を通じて、大学情報の提供を開始した。

この進学案内は、大学入試センターが全国549の国公立大学の協力を得て収集した進学に係る大学情報をデータベース化することにより、大学入学志願者や高等学校の進路指導担当教員がキャプテン通信網を通じて、個々の大学の教育研究に関する情報の入手は

もとより、志望する学部・学科等が全国のどの大学に設置されているかなどの情報を即時に知ることができるシステムである。

(1) ハートシステムの構成について

ハートシステムは、①志望大学の選択、②大学案内、③ハート速報、④入試案内、⑤編入学情報の5つのメニューで提供している。

(2) 提供内容の改善について

① サービス提供時間は、4月から7:00～24:00としている。

(3月までは、8:00～20:00)

② 個々の大学の教育研究内容等を体系的に整理して提供している『志望大学の選択』及び『大学案内』については、10月1日に一括更新して提供した。

なお、平成5年度から『HEART速報』の“大学からのお知らせ”の中で、大学入試センター試験利用大学の「大学改革の状況」を提供しているが、平成6年度からは『大学案内』の情報として、全大学について提供している。

③ 『HEART速報』、『入試案内』及び『編入学情報』については、速

報性をもたせ随時に更新して提供した。

④ 『志望大学の選択』に「入学者選抜方法」を加えて、条件検索が可能となるように検索機能のレベルアップを行った。

⑤ 平成9年度大学入学者選抜における各大学の学力検査実施教科・科目等の情報を、10月25日以降随時提供した。

⑥ 兵庫県南部地震による、平成7年度大学入学者選抜に関する緊急情報として、次の情報を提供している。

(ア) 大学入試センター試験の追試験会場について、東京大学、京都大学のほか、九州大学にも臨時試験場を設定。

(イ) 各国公私立大学が発表した個別学力検査（第2次試験）に関する入試日程等の変更・特別措置等。

(ウ) 文部省及び国立大学協会からの受験生への緊急連絡事項（被災した受験生等に対する出願手続等、

検定料の取扱い、再試験等の特別措置）。

(エ) 被災した受験生を対象とする特例入試を実施する国公立大学及びその概要。

⑦ 被災地域の大学入学志願者が入試日程等の変更情報及び特例入試情報を入手できるよう、ハートシステムの端末機を兵庫県教育委員会高校教育課、神戸市北区役所、神戸市西区役所、北淡町役場、淡路町役場及び一宮町役場等に設置した。

(3) ハートシステムの普及について
大学入試センター試験説明協議会、都道府県・指定都市教育委員会進路指導主事研究協議会、全国高等学校校長協会大学入試研究協議会等の機会を利用して、ハートシステムの端末機等設置の推進について要望した。

【ハートシステムの高等学校への導入状況】

平成7年3月現在 1,375校（全高校6,019校に対する導入率22.8%）
〔地区別導入校内訳〕 平成7年3月現在

区分	北海道	東北	関東 甲信越	東海 北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄
導入校	28校	106校	416校	193校	173校	230校	229校
導入率	7.9%	18.3%	21.6%	24.1%	19.6%	33.1%	29.2%

2 「国公立大学ガイドブック」の発行について

高等学校の進路指導や大学入学志願者の大学・学部を選定に役立てるため、各国公立大学の特色、沿革、概要、個別学力検査等の概要などを紹介したガイドブックを刊行している。

平成7年度版は、平成6年度版同様「大学案内編」と「入学者選抜方法編」に分冊し、利用効果を高めるため発行時期を早めて「大学案内編」を7月11日、「入学者選抜方法編」を9月16日に刊行し、全国の高等学校等へ配付した。

3 「大学ガイダンスセミナー」の開催について

大学入学志願者の志望・適性等に応じた適切な進路指導に資するため、大学の教育研究内容の現状と展望等について、講演・シンポジウム・パネルディスカッション等直接的な方法で紹介し、大学関係者と高等学校関係者との直接のコミュニケーションを計るため、「大学ガイダンスセミナー」を開催した。

平成6年度は次の7地区で開催した。

〔北海道地区〕

◇期日等 平成6年9月30日（金）
午前10時～午後4時

会場：北海道大学学術交流会館
（札幌市）

主催：大学入試センター

後援：北海道教育委員会

協力：北海道高等学校長協会、北海道高等学校進路指導協議会、札幌市内の10大学

◇参加者 177名（高等学校71校、大学16校等）

◇講演 「地球環境問題と大学の取組」

北海道大学理学部教授
菊地 勝弘

◇講演 「コミュニケーションのための言語教育－21世紀に向けて大学の目指すカリキュラム改革とは－」

早稲田大学教育学部教授
東後 勝明

◇意見交換「大学の教育内容について」
（パネリスト 大学側10名、高等学校側2名、大学入試センター側2名）

〔鹿児島県〕

◇期日等 平成6年10月6日（木）
午前10時～午後4時

会場：鹿児島サンロイヤルホテル
（鹿児島市）

主催：大学入試センター

後援：鹿児島県教育委員会

協力：鹿児島県高等学校長協会、鹿児島県高等学校進路指導研究協議会、鹿児島県内の6大学

◇参加者 150名(高等学校61校, 大学14校等)

◇講演 「明治維新と南北戦争—鹿児島から見た世界史—」
鹿児島大学法文学部助教授
原口 泉

◇大学入試センター研究開発部研究の紹介「試験問題による学力識別—平成4年度センター試験を中心に—」
大学入試センター研究開発部教授 越田 豊

◇意見交換「大学の教育内容について」
(パネリスト 大学側6名, 高等学校側2名, 大学入試センター側1名)

〔東北地区〕

◇期日等 平成6年9月21日(水)
午前10時～午後4時
会場: 勾当台会館(仙台市)
主催: 東北地区大学ガイダンスセミナー実施委員会
(宮城県高等学校長協会, 宮城県高等学校進路指導研究会, 宮城県内の10大学で構成)
大学入試センター
後援: 宮城県教育委員会

◇参加者 95名(高等学校47校, 大学14校等)

◇講演 「大学教育における“Teaching”と“Educa-

tion”」
—工学系化学の研究・教育からみた— 東北大学工学部教授 四ツ柳隆夫

◇講演 「人間科学の研究課題と新しいリテラシー」
大阪大学人間科学部教授
水越 敏行

◇意見交換「大学の教育内容とその改善充実の取り組みについて」
(パネリスト 大学側11名, 高等学校側3名)

〔静岡県〕

◇期日等 平成6年8月25日(木)
午前10時～午後4時30分
会場: 静岡大学学生会館
(静岡市)

主催: 静岡県大学ガイダンスセミナー実施委員会
(静岡県高等学校長協会, 静岡県私学協会, 静岡県内の10大学で構成)
大学入試センター

後援: 静岡県教育委員会

◇参加者 131名(高等学校76校, 大学11校等)

◇講演 「スペインの文化の多様性と言葉のかゝわり」
常葉学園大学外国語学部教授 テヨ・J・マロト

◇意見交換「大学の教育研究内容につ

いて」
『文系セミナー』(パネリスト 大学側7名, 高等学校側2名)

『理系セミナー』(パネリスト 大学側7名, 高等学校側2名)

〔岡山県〕

◇期日等 平成6年8月5日(金)
午前10時～午後4時
会場: 岡山大学大学院自然科学研究科大講義室
(岡山市)

主催: 岡山県大学ガイダンスセミナー連絡協議会
(岡山県教育委員会, 岡山県高等学校長協会, 岡山県内の12大学で構成)
大学入試センター

◇参加者 168名(高等学校74校, 大学12校等)

◇講演 「医師過剰時代における医学」
岡山大学医学部教授
赤木 忠厚

◇講演 「大学の教育改革の現状と将来—特に教養部の改組などについて—」
学位授与機構審査研究部教授 館 昭

◇意見交換「大学の教育内容について」
(パネリスト 大学側13名,

高等学校側5名)

〔山口県〕

◇期日等 平成6年6月15日(水)
午前10時～午後4時10分
会場: 徳山大学3号館・2号館
(徳山市)

主催: 山口県大学ガイダンスセミナー実行委員会
(県内の7大学等で構成)
大学入試センター

後援: 山口県教育委員会, 山口県高等学校長協会, 山口県, 徳山市, 山口市, 宇部市, 下関市

◇参加者 105名(高等学校36校, 大学8校等)

◇講演(全体)「大学の教育改革の現状と将来—特に教養部の改組などについて—」

学位授与機構審査研究部教授 館 昭

◇講演1 「理学部とは—その現状と展望—」

山口大学教授 岩田 允夫

◇講演2 「経済学研究の現状と将来展望」

下関市立大学助教授

丹下 栄

◇意見交換「高校の求めるもの, 大学の求めるもの—大学教育と入試制度をめぐって—」
(パネリスト 大学側8名

高等学校側 2 名)
〔長崎県〕
◇期日等 平成 6 年10月28日 (金)
午前10時～午後 4 時
会場：長崎県勤労福祉会館
(長崎市)
主催：長崎県大学ガイダンスセミナー実施委員会
(長崎県教育委員会, 長崎県高等学校長協会, 長崎県高等学校進学指導研究協議会, 長崎県内の 5 大学で構成)
大学入試センター
◇参加者 129名(高等学校56校, 大学 6 校等)
◇講 演 「21世紀における国際人の養成」
長崎県立大学経済学部教授
田中富志雄
◇大学入試センター研究開発部研究の紹介 「試験問題による学力識別ー平成 4 年度センター試験を中心にー」
大学入試センター研究開発部教授 清水留三郎
◇意見交換「社会・大学・高校から望まれる学生」
(パネリスト 大学側 7 名, 高等学校側 2 名)

4 「大学入学広報セミナー」の開催について
大学の入学広報担当者等を対象に, 大学における情報提供の必要性の周知と情報提供の質的な向上を図ることを目的として開催した。
◇期日等 平成 6 年11月22日 (火)
午前10時30分～午後 4 時
会場：有楽町朝日ホール
(東京都千代田区)
◇参加者 441名 (265大学等)
◇講 演 「UI と入学広報」
日経広告研究所主任研究員
西川 明宏
◇シンポジウム
(問題提起)「ガイダンスとしての広報戦略」
大学入試センター研究開発部助教授 池田 輝政
(討 論)「PR からガイダンスへ」
司会 永井 順國 (読売新聞社論説委員)
川邊 哲司 (藤女子大学総務課主任)
尾崎 正義 (日本大学広報部広報課長)
杉浦 一孝 (名古屋大学法学部教授)
澤田 幸雄 (西武学園文理高等学校教諭)
長 泰範 (西宮市

立西宮東高等学校教諭)
池田 輝政 (大学入試センター研究開発部助教授)

5 「進学情報サービス室」の設置について

各国公私立大学の協力を得て収集した大学案内, 履修要項, 募集要項などの最新の資料を整理・展示し, 大学入学志願者や高等学校の進路指導担当教員等が直接閲覧したり, 大学紹介ビデオやハートシステムを利用できる「進学情報サービス室」を設置している。
平成 6 年度は, 九州大学内に開設した。

- 大分進学情報サービス室
大分大学 本校内
(平成 3 年11月28日開設)
- 北海道進学情報サービス室

- 北海道大学百年記念会館内
(平成 4 年 7 月 1 日開設)
- 大阪進学情報サービス室
大阪教育大学天王寺キャンパス内
(平成 5 年 7 月 2 日開設)
- 名古屋進学情報サービス室
名古屋大学広報プラザ内
(平成 5 年 9 月14日開設)
- 福岡進学情報サービス室
九州大学創立50周年記念講堂内
(平成 6 年 7 月13日開設)

6 「HEARTニュース」(大学入試センター広報)の発行について

主として高等学校進学指導担当教員等を対象に, 大学情報提供事業についての最新の情報を提供することを目的とした定期刊行物で, 全国の高等学校, 教育委員会, 大学等に配付している。
(年 4 回程度発行)

平成 6 年度は第11号, 第12号, 第13

【進学情報サービス室の利用状況】

(各室開室日～平成 7 年 3 月末日現在)

室 名	高校教員	高 校 生	高校卒業	大 学 生	そ の 他	計
北海道	60	611	965	526	460	2,622 人
名古屋	157	3,211	190	992	2,052	6,602 人
大 阪	71	902	397	116	495	1,981 人
福 岡	89	564	182	133	468	1,436 人
大 分	68	707	69	297	542	1,683 人

号を発行し、全国の高等学校等に配付した。

7 「大学情報の利用状況等に関するモニター調査」について

大学情報提供事業を効果的に実施するため、各県ごとに数校の高等学校を「モニター調査協力校」として依頼し、大学情報の利用状況、高等学校のニーズ等に関する調査の実施及びハートシステムに関するモニター会議を開催した。

なお、本年度は、調査の目的別〔(1)ハートシステム関係調査(2)進学情報

サービス室関係調査(3)大学ガイダンスセミナー関係調査及び生徒に対する実態調査〕に分けて「モニター調査協力校」を依頼した。

8 「平成6年度大学進学情報一覧」の発行について

全国の国公立大学で作成している入学広報資料等を、大学入学志願者や高校の進路指導担当教員等が、請求又は閲覧し易いように編集した「大学進学情報一覧－何処に何がある－」を好評につき9月8日に発行し、全国の高等学校等に配付した。

平成6年度 ハートシステム導入状況

都道府県	年 月 高校数	平成6年4月		平成6年9月		平成6年12月		平成7年3月	
		導入校	導入率	導入校	導入率	導入校	導入率	導入校	導入率
北海道	356	24	6.7	26	7.3	28	7.9	28	7.9
(北海道)	356	24	6.7	26	7.3	28	7.9	28	7.9
青森	97	35	36.1	35	36.1	35	36.1	35	36.1
岩手	104	10	9.6	12	11.5	12	11.5	12	11.5
宮城	122	10	8.2	10	8.2	11	9.0	11	9.0
秋田	70	10	14.3	10	14.3	10	14.3	10	14.3
山形	72	25	34.7	25	34.7	25	34.7	25	34.7
福島	113	13	11.5	13	11.5	13	11.5	13	11.5
(東北)	578	103	17.8	105	18.2	106	18.3	106	18.3
茨城	148	23	15.5	23	15.5	23	15.5	23	15.5
栃木	92	44	47.8	44	47.8	44	47.8	44	47.8
群馬	97	33	34.0	33	34.0	33	34.0	33	34.0
埼玉	241	72	29.9	73	30.3	73	30.3	74	30.7
千葉	238	87	36.6	88	37.0	127	53.4	132	55.5
東京	505	47	9.3	49	9.7	50	9.9	51	10.1
神奈川	291	17	5.8	18	6.2	18	6.2	18	6.2
新潟	133	19	14.3	19	14.3	19	14.3	19	14.3
山梨	55	10	18.2	10	18.2	11	20.0	11	20.0
長野	123	10	8.1	11	8.9	11	8.9	11	8.9
(関東)	1,923	362	18.8	368	19.1	409	21.3	416	21.6
岐阜	105	83	79.0	84	80.0	84	80.0	84	80.0
静岡	163	19	11.7	19	11.7	21	12.9	22	13.5
愛知	259	32	12.4	32	12.4	32	12.4	32	12.4
三重	91	20	22.0	21	23.1	21	23.1	21	23.1
富山	63	15	23.8	15	23.8	15	23.8	15	23.8
石川	76	8	10.5	8	10.5	8	10.5	8	10.5
福井	43	11	25.6	11	25.6	11	25.6	11	25.6
(東海・北陸)	800	188	23.5	190	23.8	192	24.0	193	24.1
滋賀	67	5	7.5	5	7.5	5	7.5	6	9.0
京都	112	24	21.4	24	21.4	24	21.4	24	21.4
大阪	317	68	21.5	68	21.5	69	21.8	69	21.8
兵庫	256	52	20.3	52	20.3	52	20.3	52	20.3
奈良	71	10	14.1	10	14.1	10	14.1	10	14.1
和歌山	59	12	20.3	12	20.3	12	20.3	12	20.3
(近畿)	882	171	19.4	171	19.4	172	19.5	173	19.6
鳥取	41	5	12.2	5	12.2	5	12.2	5	12.2
島根	56	14	25.0	14	25.0	14	25.0	14	25.0
岡山	117	21	17.9	21	17.9	21	17.9	21	17.9
広島	155	25	16.1	25	16.1	26	16.8	26	16.8
山口	97	68	70.1	68	70.1	68	70.1	68	70.1
徳島	50	13	26.0	13	26.0	13	26.0	13	26.0
香川	52	16	30.8	16	30.8	16	30.8	16	30.8
愛媛	72	59	81.9	59	81.9	59	81.9	59	81.9
高知	55	8	14.5	8	14.5	8	14.5	8	14.5
(中国・四国)	695	229	32.9	229	32.9	230	33.1	230	33.1
福井	212	121	57.1	121	57.1	121	57.1	121	57.1
佐賀	52	2	3.8	2	3.8	2	3.8	2	3.8
長崎	91	2	2.2	2	2.2	2	2.2	3	3.3
熊本	94	14	14.9	14	14.9	14	14.9	14	14.9
大分	82	8	9.8	8	9.8	8	9.8	8	9.8
宮崎	64	7	10.9	7	10.9	7	10.9	7	10.9
鹿児島	113	34	30.1	35	31.0	36	31.9	36	31.9
沖縄	77	37	48.1	38	49.4	38	49.4	38	49.4
(九州・沖縄)	785	225	28.7	227	28.9	228	29.0	229	29.2
合 計	6,019	1,302	21.6	1,316	21.9	1,365	22.7	1,375	22.8

注) 高校数には、盲・聾・養護学校を含む。